

消費税の節税になる 人件費の払い方

消費税は、売上に応じて自動的に払わなければならないものと思われがちですが、**会社の経理方法によって節減することができます。**

消費税を自力で減らすには？

消費税は間接税であり、税負担するのは消費者です。事業者は、売上に消費者から預かった消費税を税務署に納付するという建前になっており、事業者が消費税を節減する余地などはないと思われがちです。

しかし、**事業者も経理のやり方によっては、消費税の額を減らすことができます。**

消費税の納税額は、売り上げたときに預かった「預かり消費税」から、仕入れや経費の支払いのときに支払った「支払い消費税」を差し引いた残額になります。

これは、ざっくりいえば、売上から経費を差し引いて、その残額に消費税率をかければ、消費税の納税額を算出できるということです。

式にすれば次のようになります。

$$\left(\begin{array}{c} \text{売上} \\ 1,000 \end{array} - \begin{array}{c} \text{経費} \\ 300 \end{array} \right) \times 8\% = \text{消費税の納税額} \quad 56$$

$$\left(\begin{array}{c} \text{売上} \\ 1,000 \end{array} - \begin{array}{c} \text{経費} \\ 600 \end{array} \right) \times 8\% = \text{消費税の納税額} \quad 32$$

これを見ると、**納付する消費税を減らすには、経費を増やせばよい**ということがわかります。